

学校関係者評価

評価実施日	平成31年 1 月 21日 (月)			
委員	氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
	戀木 哲也	学校評議員	上野マリエ	学校評議員
	濱田 耕造	学校評議員	藤田 秀美	P T A顧問
	三好 康子	学校評議員	藤本 治	土地家屋調査士
	中川 義博	学校評議員	松井 英樹	学校関係者
第三者評価委員	作田 良三 (松山大学経営学部教授)			

評 価 ・ 提 言 等
<p>1 全般 生徒・保護者・教職員いずれのアンケートにおいても肯定的に評価される項目が多い。しかし、一部の生徒（とりわけ3年生）と教職員において、否定的な評価が増えてきており、大きく懸念される。</p> <p>2 学習指導について 学校生活の充実、授業の充実ともに、肯定的に評価する生徒が大多数を占めている。しかし、どの項目においても、昨年度と比べるとわずかではあるが下がっている。</p> <p>3 生徒指導について 生徒・保護者ともに肯定的に評価しているが、昨年度同様、自由記述に校則や生徒指導場面に関する要望が散見される。生徒・保護者ともに、教師と生徒の信頼関係づくりに期する想いがみられる。</p> <p>4 進路指導について 学力低下を危惧する声が見られるが、保護者からの評価は昨年度より高まっていることを考えると、進路指導全体は充実していると推測される。 大学共通テストの導入など、大学入試にかかわる変更が多い時期であり、生徒にも先生方にも多くの負担がかかっていると推察される。</p> <p>5 教育環境について 毎年第二教棟のトイレについては改善の要望が出ているが、建物の老朽化によるものであり、資金的な面で改修工事は難しいと思われる。衛生面・健康面から考えて、清掃を徹底するなど、できるだけ快適に過ごせるよう対処してほしい。</p> <p>6 情報公開について ホームページの更新が頻繁になされており、生徒の活躍している様子がよく分か</p>

る。地域から好評を得ている。担当されている方は大変だと思うが、これからも継続して発信してもらいたい。

7 特色ある学校作りについて

昨年度より保護者の評価が上がっている。大洲高校独自の学校行事は地域も楽しみにしている。特別活動に充実感を感じている生徒は多いようである。今後も地域に必要とされる特色ある学校づくりに励んでほしい。

8 学校経営に関して

校務分掌の構成に関する教職員の評価および教育目標の教職員間・保護者への浸透に関する評価の落ち込みが大きいことが懸念される。

職員室や休憩室等の整備の割合も大きく下がっている。働きやすい職場づくりの環境の整備にも努めてもらいたい。